

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習 2C											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	白鳥裕之			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
<p>プロダクトデザインを中心に企業との商品開発やディレクションを行いながら、これまでのキャリアを通じて出会った様々な地域の人、技術、資源をつなげる新たな商社としての役割のほか、自社でのオリジナル商品の開発や販売、イベント企画なども行っている。</p>											
授業概要											
<p>この授業では、商品や住空間を調査し、幅広くプロダクトデザインの知識や技術を学びます。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身で実践し、プレゼンテーションできるようになることを目指す。</p>											
到達目標											
<p>基礎から専門性へ移行していく学生が、商品や住空間を観察して、問題提起からコンセプト立案することでアイデア検討、提案モデルの制作、図案の作成、プレゼンテーションをします。検証を重ねながら試作制作し、プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的にデザインの適正を考慮して、商品提案ができるようになることを目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>この科目を受講する学生は、素材や機能など商品の構成要素の研究を行ったり、住空間でのモノと空間の関係性を観察し、問題提起からコンセプト立案、アイデアを用いて解決する力を修得します。プロダクトデザインの「コンセプト立案」に関連するプロセスを理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのが狙いである。</p>											
成績評価方法											
<p>プレゼン (20%) : 制作物の発表方法、内容について評価する          課題完成度 (40%) : 提出課題完成度を総合的に評価する          リサーチ (20%) : 制作準備と過程を評価する          平常点 (20%) : 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する</p>											
履修上の注意											
<p>授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。</p>											
教科書教材											
<p>授業にて資料配布を行う          参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介 「第1課題」 レクチャー：課題説明										
第2回	モデル作成：アイデア展開、仕様決定、モデル製作										
第3回	プレゼンテーション：プレゼンテーション										
第4回	レビュー：課題の振り返り、データ提出「第2課題」 レクチャー：課題説明										
第5回	アイデア検討：アイデア展開、ラフモデル製作、素材、機能、構成など仕様を決定										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 2 C	
第6回	中間チェック
第7回	モデル制作
第8回	プレゼンテーション：プレゼンテーション
第9回	レビュー：課題の振り返り、データ提出
第10回	「第3課題」レクチャー：課題説明、ワークショップ
第11回	アイデア検討：アイデア展開、ラフモデル製作、素材、機能、構成など仕様を決定
第12回	中間チェック
第13回	モデル制作
第14回	モデル制作：プレゼンチェック
第15回	プレゼンテーション：プレゼンテーション データ提出